

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	基礎数学 1	
科目基礎情報							
科目番号	1111A01			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	一般教養			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	4		
教科書/教材	「高等学校 数学Ⅰ、数学Ⅱ」、「新課程チャート式基礎と演習 数学Ⅰ + A、Ⅱ + B」、「はぎ取り式練習ドリル 数学Ⅰ、数学Ⅱ」(数研出版)						
担当教員	山田 耕太郎						
到達目標							
1. 多項式の基本的な計算ができる。 2. 2次関数について理解し、具体的な事象の考察や2次不等式を解くことなどに活用できる。 3. 三角比の意味について理解し、具体的な事象の考察に活用できる。 4. 三角関数について理解し、その計算ができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安(可)	
到達目標1		和や積の組み合わせを工夫して、式の展開や因数分解を行うことができる。		多項式の計算ができる。		多項式の基本的な計算ができる。	
到達目標2		具体的な事象に対し、2次方程式や2次不等式を用いて、問題を解決することができる。		2次関数について理解し、2次方程式や2次不等式を解くことができる。		基本的な2次方程式や2次不等式を解くことができる。	
到達目標3		具体的な事象に対し、三角比および正弦定理・余弦定理を用いて、問題を解決することができる。		三角比の意味について理解し、三角比および正弦定理・余弦定理を用いた計算ができる。		基本的な三角比および正弦定理・余弦定理を用いた計算ができる。	
到達目標4		具体的な事象に対し、三角関数を用いて、問題を解決することができる。		三角関数およびそのグラフ等について理解し、三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。		基本的な三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		数学は工業高専において根幹となる科目である。基礎数学1では、方程式と不等式、2次関数、図形と計量及び三角関数について基礎的な知識と技能を習得する。また、それらを的確に活用する能力を養い、数学的な見方や考え方を身につける。					
授業の進め方・方法		【授業時間120時間】					
注意点		1. 授業に集中し、効率的に学習する方法を確立すること。 2. 数学力の定着には、日々の復習が必要不可欠である。積極的に取り組むこと。 3. 定期試験と数学実力試験は同等に扱う。また提出物および小テストの状況も重視される。 4. 提出物の期限は厳守すること。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1. 方程式と不等式		1-(1) 整式の加法、減法、乗法ができる。		
		2週	1. 方程式と不等式		1-(2) 因数分解ができる。		
		3週	1. 方程式と不等式		1-(2) 因数分解ができる。		
		4週	1. 方程式と不等式		1-(3) 根号を含む計算ができる。		
		5週	1. 方程式と不等式		1-(3) 根号を含む計算ができる。		
		6週	1. 方程式と不等式		1-(4) 1次不等式を解くことができる。		
		7週	1. 方程式と不等式		1-(4) 1次不等式を解くことができる。		
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	2. 2次関数		2-(1) 2次関数およびそのグラフについて理解している。		
		10週	2. 2次関数		2-(2) 2次関数の最大・最小を求めることができる。		
		11週	2. 2次関数		2-(2) 2次関数の最大・最小を求めることができる。		
		12週	2. 2次関数		2-(3) 2次方程式を解くことができる。		
		13週	2. 2次関数		2-(3) 2次方程式を解くことができる。		
		14週	2. 2次関数		2-(4) 2次不等式を解くことができる。		
		15週	2. 2次関数		2-(4) 2次不等式を解くことができる。		
		16週	前期末試験				
後期	3rdQ	1週	3. 図形と計量		3-(1) 正弦・余弦・正接およびその相互関係を理解している。		
		2週	3. 図形と計量		3-(1) 正弦・余弦・正接およびその相互関係を理解している。		
		3週	3. 図形と計量		3-(1) 正弦・余弦・正接およびその相互関係を理解している。		
		4週	3. 図形と計量		3-(2) 正弦定理・余弦定理を理解している。		
		5週	3. 図形と計量		3-(2) 正弦定理・余弦定理を理解している。		
		6週	3. 図形と計量		3-(2) 正弦定理・余弦定理を理解している。		
		7週	3. 図形と計量		3-(3) 三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。		
		8週	後期中間試験				

	4thQ	9週	4. 三角関数	4-(1) 弧度法および一般角の三角関数について理解している。
		10週	4. 三角関数	4-(1) 弧度法および一般角の三角関数について理解している。
		11週	4. 三角関数	4-(1) 弧度法および一般角の三角関数について理解している。
		12週	4. 三角関数	4-(2) 三角関数の性質とグラフについて理解している。
		13週	4. 三角関数	4-(2) 三角関数の性質とグラフについて理解している。
		14週	4. 三角関数	4-(3) 加法定理を理解している。
		15週	4. 三角関数	4-(3) 加法定理を理解している。
		16週	学年末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	数学	数学	数学	整式の加減乗除の計算や、式の展開ができる。	3	前1
				分数式の加減乗除の計算ができる。	3	前1
				実数・絶対値の意味を理解し、絶対値の簡単な計算ができる。	3	前1
				平方根の基本的な計算ができる(分母の有理化も含む)。	3	前4,前5
				解の公式等を利用して、2次方程式を解くことができる。	3	前12,前13
				簡単な連立方程式を解くことができる。	3	前1
				1次不等式や2次不等式を解くことができる。	3	前6,前7,前14,前15
				2次関数の性質を理解し、グラフをかくことができ、最大値・最小値を求めることができる。	3	前10,前11
				角を弧度法で表現することができる。	3	後9,後10,後11
				三角関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	後12,後13
				加法定理および加法定理から導出される公式等を使うことができる。	3	後14,後15
				三角関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3	後11
				三角比を理解し、簡単な場合について、三角比を求めることができる。	3	後1,後2,後3
				一般角の三角関数の値を求めることができる。	3	後9,後10
				簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表すことができる。	3	前6

評価割合

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	80	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0